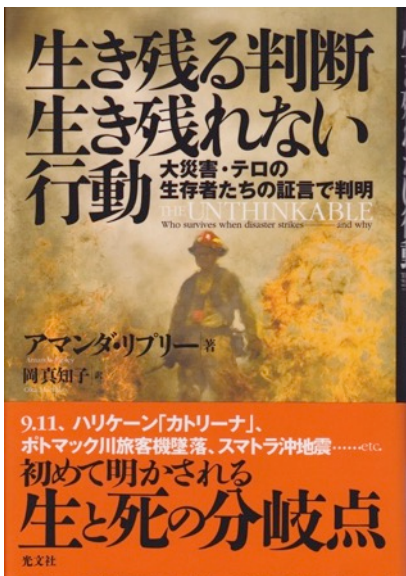


LIBRARY

No.3 平成 26 年 10 月 14 日
津田沼高等学校図書委員会

お待たせしました、図書委員会の広報です。
学校の図書館には面白い本がたくさんあります。
なので、今回は図書委員会のおすすめの本を紹介します。

『生き残る判断 生き残れない行動』 アマンダ・リプリー 著 岡真知子 訳 光文社



～君は生き延びることができるか～

人は、危機的状況に陥った時、何を考え、どう行動するのか。

この本には、多数の死者を出した災害やテロの被害に逢った生存者の生々しい証言が記載されています。

彼らはなぜ生き残る事が出来たのか『生と死の分岐点』が明らかになります。

この本を読めば、いつか起こるかもしれない『もしもの時』に、正しい判断を下し、行動出来るようになるでしょう。

☆小説☆

『グラスホッパー』 伊坂幸太郎 作 角川文庫



～三人の思惑が今、交錯する～

元教師の鈴木は『押し屋』という殺し屋に、自分の妻を轢き逃げで殺した男を殺されてしまう。

自身の復讐を横取りされてしまった鈴木は正体を探るために『押し屋』を追う。

一方、別の殺し屋であるナイフ使いの『蟬』と、自殺専門の殺し屋の『鯨』も同じく押し屋を追う。

特徴的な登場人物と、殺伐とした雰囲気の中の陽気な会話に、読んでいくうちに夢中になってしまう一冊です。是非、手に取って読んでみてください。

『空の境界（上）』 奈須きのこ 作

～あらゆるモノの『死』を認識できる少女～

ある事故によって記憶と引き換えに、あらゆる存在の『死』を『線』と視ることが出来るようになってしまった少女・両儀 式と、彼女に思いを寄せる青年・黒桐幹也、そして彼女らの身の周りの人達が次々と怪事件に巻き込まれてゆく怪奇小説。

独特の引き込まれるような世界観、登場人物の思考が見え隠れするバラバラの時系列など、物語を盛り上げる要素がこの本には詰まっています。

ぜひ「空の境界（下）」と合わせて読んでほしい一冊です。



☆写真集☆

『一度は行ってみたい日本の絶景【保存版】』 日本絶景倶楽部 編著 洋泉



社

この本は「最近何だか疲れている」人や「旅番組が好き」という人にオススメの一冊です。

北海道から沖縄にかけて、日本全国の数多くの絶景スポットが記載されており、忙しい高校生活を送るあなたの心をきっと癒してくれるでしょう。

巻末には各スポットへのアクセスマップも記載されているので、長期休暇中の旅行の計画を立てる際に活用してみてはどうでしょうか？

☆おまけ☆

『迷惑メール、返事をしたらこうなった。』 多田文明 作 イースト・プレス



～迷惑メールの結末、知ってみたいありませんか？～

迷惑メール…携帯電話を持っているひとなら、誰もが一度は経験したことがあるでしょう。この本では、キャッチセールスや悪徳商法を専門に扱う評論家である筆者が、様々なタイプの迷惑メールにワザと引っかかり、画面の向こうの相手の思惑を探っていきます。「ロト6の番号教えます」「C S放送が全てタダで観られるICカード」といったよくあるインチキ商品の購入を進めるメールや「私はゴリラです」といった意味不明な出会い系メールなど、進展していくうちに内容が面白くなってくるので、変わったモノ好きの人は手に取って読んでみてはどうでしょうか？

あ、くれぐれも自分の携帯電話で試さないで下さいね。個人情報とか抜かれて大変なことになります。